

首都直下地震への備え/従業員の帰宅抑制への理解を深めよう!!

2024年7月に内閣府は、「大規模地震発生に伴う帰宅困難者等対策のガイドライン」を改訂しました。この改定では東日本大震災から13年がたち社会状況の変化をうけて、主に情報提供及び帰宅開始場面等について等が新たに追加されています。今年度の第2回セミナーでは、新ガイドラインがめざす「帰宅困難者対策のあり方」について理解を深めるとともに、事業者が必要な対策についてご講演をいただきます。講演を通じて、本協議会としての今後の取り組みについて、みなさんとともに考えたいと思います。

日 時：2025 年 2 月 27 日（木）14：00～16：00

14:00～14:05 開会あいさつ等

14:05～14:50 【講演①】帰宅困難者対策のガイドラインの改定について

《講師》 廣井 悠（ひろい ゆう） 氏

東京大学 先端科学技術研究センター 教授 首都直下地震帰宅困難者等対策検討委員会 座長

ガイドラインのもとになった「帰宅困難者等対策に関する今後の対応方針」等に沿って、首都直下地震等の大規模地震発生時に備え、事業者が備えるべき事項や帰宅困難者対策の考え方について、わかりやすく解説いたします。



14:50～15:15 【講演②】帰宅困難と備蓄とBCP

《講師》 守 茂昭（もり しげあき） 氏

一般財団法人都市防災研究所 理事・上席研究員

ガイドラインの改定は、「3日以上の上籠に耐えろ」と言い始めたわけですが、常時大量の食材を抱えれば、賞味期限が近づくたびに大量のゴミが供出されます。備蓄に仕込むべき性能や機能が何であるか、改めて考案し、考え直すべき時代に入ったこととお見せします。



15:15～15:40 【講演③】これからの災害トイレ対策を考える

《講師》 安原 綾乃（やすはら あやの） 氏

クリロン化成株式会社 開発営業部課長

繰り返されてきた悲惨なトイレ環境は、避難所だけの問題ではありません。どの事業者でも課題となる、発災直後に必要なトイレ対策について3つのポイントをご紹介します。開発者目線での品質裏話も。

発災直後のトイレ対策



15:40～15:55 質疑応答

15:55～16:00 事務連絡、閉会あいさつ 等

場 所 工学院大学新宿校舎 3 階アーバンテックホール

および リモート（Zoom）で開催いたします。（お申込み頂いた方に URL 等をご案内いたします。）

対 象 者 新宿駅周辺で働いている方、お住まいの方、駅周辺の商業施設をご利用の方、その他誰でも

参 加 費 無料 定 員 120 名

申込方法 別紙参加申込書により 2025 年 2 月 20 日（木）までに FAX でお申込み頂くか、ご所属、ご連絡先（住所、電話番号、e-mail アドレス）、ご参加者氏名及び出席方法を電子メールで下記アドレス宛にご送付ください。 [申し込み先アドレス] bosai@city.shinjuku.lg.jp

問 合 せ 新宿区危機管理担当部危機管理課 担当：染谷 （電話 03-5273-4592 FAX 03-3209-4069）